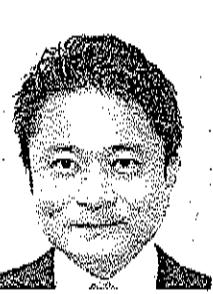


柿沢議員 買収容疑で逮捕

区長選巡り ネット広告容疑も

東京都江東区長選をめぐる事件で、東京地検特捜部は28日、衆院議員の柿沢未途・前法務副大臣(52)＝東京15区、自民党を離党＝を公職選挙法違反容疑で逮捕し、発表した。区議や陣営スタッフらに計約260万円の現金を渡すなどした買収と、選挙中に有料ネット広告を掲載したという二つの容疑を適用した。

▼3面＝新旧容疑合わせ技、10面＝社説



柿沢未途衆院議員

特捜部は政策秘書の伊藤正樹(51)、公設第1秘書の柚留木成人(64)、私設秘書の後藤周(38)と森川直樹(34)の4容疑者も買収容疑で逮捕。全体では14人に対する計約336万円が買収資金とされた。有料ネット広告の禁止は2013年施行の改正公選法で新設された規制で、今回が初適用となり

柿沢議員や秘書は逮捕

され、さらに柿沢議員は単独で、木村陣営の選挙を指揮した非自民の元区議に

後の調べに、買収容疑を否認したとみられる。

4月の江東区長選で

は、柿沢議員が支援した木村弥生・前区長(58)＝辞職＝が初当選した。

発表などによる、柿

沢議員は2月、秘書4人と共謀し、木村氏を当選させる選挙運動をする報酬として、自民区議15人に計100万円を提供したほか、3区議に計60万円の提供を申し込んだ

疑いがある。

1人に20万円を支払つた疑いもある。

一方、伊藤秘書は同じ

投票を呼びかける広告動画を、約38万円でユーチューブに掲載した疑いがあるという。(川嶋かえ)

陣営スタッフに別途20万円、後藤秘書は別のスタッフ4人に計約56万円を渡した疑いがある。金体の買収資金は14人への約336万円で、柿沢議員の逮捕容疑はこのうち約260万円とされた。

特捜部は、有料ネット広告容疑でも柿沢議員を逮捕。木村氏と共に選挙期間中に木村氏への

投票を呼びかける広告動画を、約38万円でユーチューブに掲載した疑いがあるという。(川嶋かえ)